

一般社団法人日本家政学会 家族関係学部会 ニュースレター

Council on Family Relations, Japan Society of Home Economics

2020年度 第2号 2021.2.15 発行



編集 永田 晴子 (庶務担当)

発行 家族関係学部会事務局

***** INDEX *****

- 部会長より
- 第40回家族関係学セミナー報告
- 『家族関係学』編集委員会より
- 第41回家族関係学セミナーのご案内
- 庶務(会員管理担当)より
- 会計より
- 会員のメルマガを利用した情報発信について

部会長より

山根 真理 (愛知教育大学)

昨年3月以来の新型コロナウイルス禍の日々、部会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。2020年度は学術研究の世界にとっても厳しい年でしたが、オンラインを通じた新しい形の研究交流が広まった年でもありました。昨年10月に開催された第40回家族関係学セミナーもオンラインの形で、自由報告、40周年記念行事、記念シンポジウムが行われ、節目にふさわしい素晴らしいセミナーでした。困難の中、ご登壇くださった皆様、セミナーの企画・運営を担ってくださった皆様、部会運営を推進してくださった前役員の皆様にあらためまして、お礼を申し上げます。

2021年の家族関係学セミナーは、10月9、10日に椙山女学園大学で開催される予定です。台風19号のため紙面開催となった第39回、オンライン開催となった第40回を経て徐々に時間と空間を共にする対面開催を予定していますが、新型コロナウイルス感染症の状況次第でオンラインに切り替える可能性もございます。実行委員会では両方の可能性を視野に入れ、意欲的に準備を進めていただいています。2022年のセミナーは韓国家族関係学会(KAFR)との学術交流を何らかの形で行う方向で、KAFRとのやり取りを進めています。部会誌『家族関係学』は2021年12月に第40号の刊行を予定し、編集委員会では40周年記念号刊行に向け企画を練っています。

日本家政学会は2021年5月28・29・30日に第73回大会が、神戸女子大学のお世話でオンライン開催されます。家政学夏季セミナーは、昨年実施できなかったテーマを引きつぎ「健康寿命を延ばすーウィズコロナ時代における人生100年の礎を築くー(仮)」の趣旨で1日のオンライン開催となる予定との連絡がきております。

日本家政学会はじめ関連諸団体とも連携をとり、家族関係学の学術的、実践的な仕事の質を高めるべく議論の場を生み出し、広く社会に発信していく所存です。引き続きご協力の程、お願い申し上げます。

★ ★ ★ 第40回家族関係学セミナー報告 ★ ★ ★

佐藤 宏子 (第40回セミナー実行委員長/和洋女子大学)

部会設立40周年の節目を迎えた第40回家族関係学セミナーは、2020年10月10日・11日に和洋女子大学での開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の状況により、大会事務局を和洋女子大学、当日本部をお茶の水女子大学として、10月10日(土)にオンライン(Zoom)で開催しました。参加者を部会員に限定したオンラインセミナーとなりましたが、北海道から九州まで80名の皆さまが参加されました。プログラム別の参加者人数は、自由報告66名(第1分科会50名、第2分科会16名)、40周年記念行事63名、40周年記念シンポジウム66名、総会58名でした。

午前の自由報告は計11報告あり、山下美紀会員(ノートルダム清心女子大学)、森田美佐会員(高知大学)、杉井潤子会員(京都教育大学)、木脇奈智子会員(藤女子大学)が座長を担当されました。

午後のプログラムは「40周年記念行事」で始まりました。まず、歴代の部会長を代表して、袖井孝子先生(第9代部会長)と本村汎先生(第6代部会長)から、家族関係学が誕生した歴史的背景、家族関係学は学際的特徴を持ち、理論と実践を統合して生活課題を解決する実践的方法を社会に明らかにしていく使命があることをご挨拶をいただきました。部会長としてご尽力いただいた湯沢雍彦先生、中間美砂子先生、牧野カツコ先生、酒井はるみ先生からのメッセージは、要旨集に掲載させていただきました。続いて長津美代子先生(第15代部会長)に「家族関係学部会の40年の活動を振り返る—家族関係学の更なる発展を目指して—」と題して記念講演をお願いしました。長津先生は40年間の家族関係学セミナー、「家族関係学」、研究活動助成事業、家政学会賞をレビューされ、家族関係学の鍵概念として科学性・学際性・実践性を示し、今後の課題と方向性を提起されました。最後に、40周年記念事業優秀著書賞選考委員会委員長の久保桂子会員から、優秀著書賞を安藤藍会員の『里親であることの葛藤と対処—家族的文脈と福祉的文脈の交錯—』(ミネルヴァ書房、2017年2月)に授与するとの発表があり、宮坂靖子部会長より安藤藍会員にオンラインで賞状および副賞が贈呈されました。

午後の後半は、40周年記念シンポジウムが「多様な関係性を持つ家族への理解と支援—ステップファミリーに注目して—」というテーマで、日本家政学会活動助成を得て開催されました。基調講演の野沢慎司氏(明治学院大学)は「ステップファミリーと『多様な家族』の限界—子どもの視点から壁を超える—」と題し、「多様な家族」の通念的な理解の限界点、通念的な理解に基づく社会制度が複雑な家族過程を覆い隠している状況、ステップファミリーの子どもたちの経験に照準し、ステップファミリーのノーマライゼーションへの道筋を示されました。講演1の菊地真理会員(大阪産業大学)は、『多様な家族』の限界への挑戦—再婚後の別居親子の継続と協働養育の実践—と題し、「多様な家族」への制度的拘束、再婚後の家族モデルの提示、実践事例の紹介、家族の多様性をふまえた「家族」学習について論じました。講演2の緒倉珠巳氏(ステップファミリー・アソシエーション・オブ・ジャパンSAJ代表)は、「支援を通して見えてきたステップファミリーの課題—20周年を迎えるSAJの支援実践—」と題し、子どもを連れた再婚家庭での悩みや課題解決を目的として、2001年に当事者の交流から始まったSAJが米国のステップファミリー支援組織SAAから得たプログラム、SAJの20年間の実践的な取り組み、離婚・再婚の増加がみられる若年層に向けた有効なアプローチや支援の拡大などについて論じました。ご講演の後、先生方の理論と実証と実践を積み重ねられた研究成果について、多くの質問があり議論が行なわれました。司会は久保桂子会員と佐藤裕紀子会員が担当しました。

セミナー終了後に自由記述式のアンケートをお願いしたところ、18名の部会員の皆さまからA4判10枚を超える充実した内容のご意見や感想をお寄せいただき、部会への期待と情熱を強く感じました。その中には開催場所を問わず視聴できるオンライン開催のメリットを指摘された部会員が多く、数年に1回のオンライン開催やプログラムの一部を対面とオンラインの併用とする開催方法、プログラムにワークショップを組み込むこと、総会のオンライン開催などのご提案がありました。

40周年という記念すべきセミナーが、コロナ禍での経験したことのないはじめてのオンライン開催となりましたが、皆さまのご協力とご支援に支えられて無事終了することができました。心よりお礼を申し上げます。

第40回家族関係学セミナー実行委員会:安藤藍・大風薫・大森美佐・久保桂子・税所真也・佐藤裕紀子
・平野順子・八巻睦子・佐藤宏子、協力:川嶋英敏(東京大学高齢社会総合研究機構)・田原

★ ★ ★ 『家族関係学』編集委員会より ★ ★ ★

表 真美 (編集委員長/京都女子大学)

○ 『家族関係学』投稿論文の募集

(1) 『家族関係学』40号への投稿について

『家族関係学』No. 40 への投稿原稿を募集いたします。多くの会員のみなさまから力作が寄せられますことを期待しています。

40号から、投稿はメールのみの受付となりました。また、投稿規程、執筆要項が改訂されています。原稿には、本部会ホームページからダウンロードした「投稿申込表紙」を添えて、MSWord形式およびPDF形式のファイル両方を、編集委員会(下記アドレス)宛にメール添付で送付してください。

メール投稿締切期日：2021年3月31日(火) 24:00

編集委員会 E-mail edit★kazokukankeigaku.jp (★を@に置き換えてください)

(2) 投稿規程・執筆要項の改訂について

40号から投稿規程・執筆要項が改訂されました。ご執筆に当たっては、必ず本部会ホームページにアップロードされている投稿規程・執筆要項をご参照下さい。なお、メールによる投稿のみになりましたので、投稿料の徴収はなくなりました。

○ 書評・文献紹介の対象となる図書情報の募集

書評・文献紹介の対象となるご著書等の情報を、ぜひお知らせください。2010年5月1日から2021年4月30日までの間に刊行され、部会員が執筆に関わったすべての文献を対象とします。自薦、他薦いずれも歓迎します。

編集委員会書評担当まで、1冊、献本をお願いします。もしくは、書誌情報【著者名・編者名、書名、発行年月日、発行所、税込価格、ISBN、執筆部会員名】をE-mailでご連絡いただければ幸いです。なお、ページ数に限りがあるために、すべての著作を取り上げることはできませんのでご了承ください。

締め切りは、2021年5月2日(日)とします。

〈書評・文献紹介担当〉

〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748 鳴門教育大学 黒川 衣代 宛

Tel : 088-687-6571 Fax : 同左

編集委員会 E-mail: edit★kazokukankeigaku.jp ★を@に置き換えてください

★ ★ ★ 第41回家族関係学セミナーのご案内 ★ ★ ★

吉田 あけみ (第41回セミナー実行委員長/椋山女学園大学)

第41回家族関係学セミナーは、愛知県名古屋市千種区の椋山女学園大学星が丘キャンパスにて開催します。椋山女学園大学のある名古屋市千種区星が丘地区は、名古屋駅から地下鉄で20分ほどの場所に位置する高台にあり、名古屋を一望することができます。少し足を伸ばしていただきますと、隣接する長久手市には、小牧・長久手の戦いの長久手古戦場跡などの史跡があります。

参加、自由報告募集のご案内は、5月を予定しております。名古屋駅から20分と、交通の便に恵まれておりますので、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

日 程：2021年10月9日(土)～10日(日)

会 場：椋山女学園大学 星が丘キャンパス
〒464-8662 愛知県名古屋市千種区星が丘元町17番3号

アクセス：名古屋駅から地下鉄東山線に乗車し、星が丘駅下車(約20分)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴いまして、オンライン開催になるかもしれません。5月には、開催方法を、改めてご案内いたします。

★ ★ ★ 庶務(会員管理担当)より ★ ★ ★

山下 美紀 (庶務/ノートルダム清心女子大学)

○ご住所・ご所属の変更、入退会のご希望については、下記までご連絡ください。

○2017年度から学生会員の年会費が減額されております。会員区分に変動があった場合(たとえば学生会員から正会員へ)は、お手数ですが、下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

○情報提供のお願い

連絡先不明： 畢舜垚(敬称略)

メールアドレス不明： 浅田(梶原) 彩子・荒谷 直美・遠藤 マツエ・川村 千恵子・
澤田 光・大後 みき子・田中 弓子・望月 ミチ(敬称略)

※連絡先の情報をお持ちの方はご連絡ください。

○バックナンバーの購入について

『家族関係学』の在庫は、30号(10冊)、31号(8冊)、32号(9冊)、33号(6冊)、34号(10冊)、35号(10冊)、36号(5冊)、37号(31冊)38号(21冊)です。1冊2,000円で購入できます。購入希望の方は、下記の連絡先までお知らせください。ご所属の図書館等の蔵書としてもお買い求めいただきますようお願いいたします。

なお、『家族関係学』の在庫の保管・販売は2017年7月から、よしみ工業株式会社東京事務所に業務委託しています。購入希望者の方には、よしみ工業株式会社より郵送されます。

連絡先：ノートルダム清心女子大学 山下美紀

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 Tel: 086-252-2142 Fax: 086-252-5145

E-mail: inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学部事務局) ★を@に置き換えてください

★★★ 会計より ★★★

大風 薫 (会計/お茶の水女子大学)

2020年度および過年度の年会費未納の方は、2月26日(金)までに年会費を振り込んでください。会計の都合上、期日厳守をお願いいたします。また、学生会員の年会費が2017年度より減額となっております(正会員5,000円、学生会員2,000円)。学生会員として年会費を振り込む場合は、必ず学生証の写しを下記までお送りください。郵送でもPDFや画像で送っていただいても構いません。

2021年度に学生会員として入金を希望される方については、提出期限や提出方法など、今後のニューズレターでご案内いたしますので、そちらをご確認ください。なお、学生会員の場合は2年分の会費を前納することはできません。

ご不明の点がございましたら、下記までご連絡ください。

年会費振り込み先：(郵便振替) 00310-6-30229 家族関係学部会
連絡先：お茶の水女子大学 大風 薫 〒112-8610 文京区大塚2-1-1 学生・キャリア支援センター
E-mail：ookaze.kaoru★ocha.ac.jp ★を@に置き換えてください

★★★ 会員のメルマガを利用した情報発信について ★★★

永田 晴子 (庶務/大妻女子大学)

家族関係学部会にかかわる活動で、会員間の相互交流や研究活動の発展に資する情報の配信を希望する方は、下記の要領で、事務局メールアドレスまで情報をお寄せ下さい。なお、発信内容が不適切であると役員会が判断した場合、情報が掲載されないこともあります。

<メルマガ配信依頼について>

【依頼先】 inquiry★kazokukankeigaku.jp (★を@に置き換えてください)

【メールの件名】メルマガ配信依頼

【配信内容】メール本文に①～④の内容を記載してください。

- ①情報のタイトル(「〇〇のご案内」など)
- ②配信内容(概ね600文字以内)
- ③主催者
- ④問合せ先

*配信できるのはテキストデータのみです。ファイルを添付することはできませんので、ウェブサイトへのリンク等でご対応ください。

【メルマガ配信予定】年4回(5月・7月・9月・10～12月)

☼+++++++☼

<家族関係学部会事務局>

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9

ノートルダム清心女子大学 山下美紀

Tel : 086-252-2142 Fax : 086-252-5145

E-mail : inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局)

メールマガジン配信アドレス : info★kazokukankeigaku.jp ★を@に置き換えてください

家族関係学部会ホームページのURL : <http://kazokukankeigaku.jp>

☼+++++++☼